

地域高規格道路松本系魚川連絡道路について

次に、「地域高規格道路 松本系魚川連絡道路」の整備促進について、以下建設部長に質問いたします。

厳しい経済状況を打破するためには、地域の産業振興が欠かせないものと考えています。

企業誘致をはじめ、観光、商業など、地域の産業の振興には、高速交通網の整備が必要不可欠、かつ、絶対必要条件であると考えます。

大北地域は、高速交通網から取り残されているというハンディを背負った、条件不利地です。その影響は、雇用をはじめとして、人口減少、少子高齢化などにも大きく影響しています。

こういった状況から、この道路整備は、大北地方にとりましては、地域の将来をかけたプロジェクトであることは、これまでも訴えてきたところです。

この道路整備は、産業振興、生活基盤整備といった観点だけでなく、「命をつなぐ道」として、地域住民の安心、安全な生活を確保するとの点からも、早急な整備が待たれていることを、これまでも、訴えてきたところです。

幸い、知事をはじめとして、建設部におきましても、この道路の必要性、重要性については、特に、冬期間の厳しい交通状況などに

ついても、十分に認識していただいて、事業化に向けた検討も、精力的に重ねていただいておりますことに対しまして、感謝申し上げます。

知事は常日頃から、「道路整備は、思いつきでなく、しっかりとした計画のもとで、着実にすすめていく」との姿勢を示されていて、私も全く同感であります。

おかげさまで、昨年、長野県側の起点を「豊科インター北付近（仮称）」とするルート案を、「最適とする」県の見解を示していただき、期成同盟会をはじめとして、県民の皆様からも大方のご賛同をいただきました。大きく前進を見ることができました。

入江建設部長の議案説明要旨のなかで、「豊科北ルート案を基本に調査検討を進めるとともに、小谷村雨中地区については、早期の整備区間格上げに向けた、調査の推進を」との考えが述べられていました。

先般、小谷村で雨中地区の住民説明会が開かれ、地区住民の皆様からの了承が得られれば、予備設計に入り、「早期事業化の方針」が示されたとお伺いしました。

これまでの調査では、調査区間の地質が脆弱で、地形的にも問題を抱えているとのことから、再度検討を重ねた結果として、最適のルート案が示されたと考えますが、県が示した有力なルート案の概

要と、今後の事業化に向けてのすすめ方、対応についてお聞かせください。

念願の小谷村雨中地区の事業化が現実味を帯びてきました。

準備の整ったところから、是非一刻も早い、事業着手を切に願うところです。入江部長の声で決意のほどをお聞かせください

次に、長野県側の起点となります、長野道とアクセスする豊科北付近（仮称）の調査状況はどのようになっていますか、現在の状況についてご説明下さい。

併せて、今後の見通しと、課題等がありましたらお聞かせください。